|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 算数科　単元デザイン | | | | | | | |
| 単元名 | | | | | | 学　年 | ２学年 |
| 新しい計算を考えよう　かけ算⑴ | | | | | | 児童数 | ２１名 |
| 授業者 | 石川　諒 |
| １　単元の目標と観点別評価規準 | | | | | | | |
| 乗法の意味について理解し，計算の意味や計算の仕方を考えたり乗法に関して成り立つ性質を見いだしたりする力を養うとともに，計算方法などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，そのよさに気付き今後の生活や学習に活用する態度を養う。 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 | | |
| ・乗法が用いられる場合や乗法九九について知り，情報の意味や情報に関して成り立つ性質を理解し，乗法が用いられる場面を絵や図，言葉，式で表したり，乗法九九（５，２，３，４の段）を構成し，確実に唱えたりすることができる。 | | | ・数量の関係に着目し，累加の考えや乗数と積の関係などを基に，乗法九九の構成の仕方を考え表現している。 | | ・数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理をや乗法のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。 | | |
| ２　単元で働かせる「見方・考え方」 | | | | | | | |
| ・数量の関係に着目し，計算の意味や計算の仕方を考える。  ・「１つ分の数」をひとまとまりと見て，その「いくつ分」と捉えて見る。  ・「ある量の何倍にあたる量」の求め方について，乗法の考え方を用いて考える。 | | | | | | | |
| ３　単元における「学習課題」 | | | | | | | |
| 【単元の学習課題】  　かけ算のきまりを見つけよう。 | | | | | | | |
| ４　主体的・対話的で深い学びの実現に向けた具体的な子どもの姿と手立て | | | | | | | |
| 主体的な学び | | | 対話的な学び | | 深い学び | | |
| 見通しをもつ  課題の解決に向けた自分の思いや願いをもち，進んで解決しようとしている。  ・身近なものの中から疑問を生み出し，課題につなぐ場の設定をする。  ・かけ算のきまりを見付けるという目的意識を明確にした，課題を設定する。    振り返って次へつなげる  自らの学びに自信をもち，更に学ぶ意欲を高めている。  ・かけ算の知識を生かし，自ら挑戦したくなる課題を設定する。 | | | 互いの考えを比較する  考えの根拠をもって伝え合おうとしている。  ・「１つ分」「いくつ分」の数量を，言葉や数字，絵などでつかみ，表現する場を設定する。  物体 が含まれている画像  自動的に生成された説明・必要感のある題材を設定する。  協働して課題解決する  かけ算のきまりや仕組みについて考えようとしている。  ・友達と相談しながら，かけ算のきまりを使って身の回りにあるものの数量を数えられるような場面設定をする。 | | 置き時計, 物体 が含まれている画像  自動的に生成された説明  知識・技能を習得する  解決のために，既習事項や経験と重ね合わせたり，つないだりしている。  ・  ・具体物や半具体物を用いて理解の一助となるようにする。  ・言葉，絵，図，式などを用いて自分の考えを表現できるようなツールを用意する。  物体, 置き時計 が含まれている画像  自動的に生成された説明  知識・技能を活用する  自分の考えの根拠をもち，その考えを検証している。  ・自力解決のための時間を確保する。  ・獲得した知識・技能を用いて振り返りができるよう終末の問題を工夫する。 | | |
| ５　単元の指導と評価の計画（全２１時間） | | | | | | | |
| 時間 | 具体的な  子どもの姿 | 学習課題（◆）　主な学習活動（○） | | 評価の観点【】　評価規準 | | | |
| １・２ |  | ◆人数の数えやすい方を考えよう  ○　「１つ分の数」と「いくつ分の数」に着目して全体の数の数え方を考える。 | | 【思・判・表】  ・「１つ分の数」と「いくつ分の数」に着目して，全体の数量の数え方について考え，説明している。（観察・ノート）  【態度】  ・ものの全体の個数を「１つ分の数」の「いくつ分」と捉えるとよいことに気付き，数えようとしている。（観察・ノート） | | | |
| ３ | 置き時計, 物体 が含まれている画像  自動的に生成された説明 | ◆写真をかけ算の式にあらわそう  ○　１つ分といくつ分がいくつかに着目して式を考える。 | | 【知・技】  ・具体物や半具体物を用いて考えることで，１つ分やいくつ分の意味を理解している。（観察・ノート） | | | |
| ４ | 物体, 置き時計 が含まれている画像  自動的に生成された説明  標識 が含まれている画像  自動的に生成された説明 | ◆かけ算の式をおはじきであらわそう  ○　かけ算の式になるように，おはじきを並べ，その理由を説明する。 | | 【知・技】  ・乗法は１つ分（ひとまとまりの数量）からいくつ分に当たる大きさを求める場合に用いられることを理解している。（観察・発表）  【思・判・表】  ・１つ分，いくつ分の数に着目して，式の意味を考え，説明している。（観察・ノート・発表） | | | |
| ５ | 置き時計, 物体 が含まれている画像  自動的に生成された説明  物体, 置き時計 が含まれている画像  自動的に生成された説明 | ◆６×４の答えの求め方を考えよう  ○　既習事項を用いて６×４の答えを考える。 | | 【知・技】  ・１つ分の数をいくつ分の数だけ加算して求められることに気付いている。  （観察・ノート・発表）  【思・判・表】  ・図や式，絵や言葉を用いて式の意味を考え，説明している。（観察・発表） | | | |
| ６ | 置き時計, 物体 が含まれている画像  自動的に生成された説明 | ◆「ばい」についてまとめよう  ○　倍の意味を知り，かけ算を用いて求められることを理解する。 | | 【知・技】  ・倍の意味について理解している。  （観察・ノート）  【思・判・表】  ・倍が表していることを，テープ図を基に考え，説明している。（観察・ノート） | | | |
| ７ | 物体 が含まれている画像  自動的に生成された説明 | ◆身近な物の中からかけ算を見つけよう  ○　身の周りにあるかけ算の式で表せるものを考える。 | | 【知・技】  ・ロッカーや掲示物などからかけ算の式に表せるものを考え，式に表している。  （観察・ノート）  【態度】  ・学習内容を生かして立式しようとしている。（観察・ノート） | | | |
| ８～１５ | 物体, 置き時計 が含まれている画像  自動的に生成された説明 | ◆九九をつくろう  ○　かけ算のきまりを使って２・３・４・５の段を作る。  ○　作った九九を用いて文章問題に取り組んだり，暗唱をしたりする。 | | 【知・技】  ・九九の構成の仕方を理解し，構成することができる。（観察・ノート）  【思・判・表】  ・既習事項を用いて九九表を作っている。  （観察・ノート）  【態度】  ・九九を暗唱できるように進んで取り組んでいる。（観察・ノート） | | | |
| １６ |  | ◆もんだいのちがいを考えよう  ○　２×５になる式と，５×２になる式の意味を捉え，立式の理由を考える。 | | 【思・判・表】  ・答えが同じでも立式が異なる理由を考え，説明している。（ノート・発表） | | | |
| １７～２１ | 物体, 置き時計 が含まれている画像  自動的に生成された説明 | ◆学習を振り返ろう  ○　学習内容の習熟・定着  （たしかめよう）  ○　数学的な見方・考え方の振り返り（つないでいこう　算数の目） | | 【知・技】  ・基本的な問題を解決することができる。（観察・ノート） | | | |